

市立病院の経営状況



市立病院は、一般診療や各種健康診査のほか、救急医療にも対応するなど、皆さんの健康のために必要な医療を提供しています。また、地域包括ケア病棟の運用充実を図り、他の医療機関との連携を推進するほか、精神病棟および感染症病棟を併設した地域多機能病

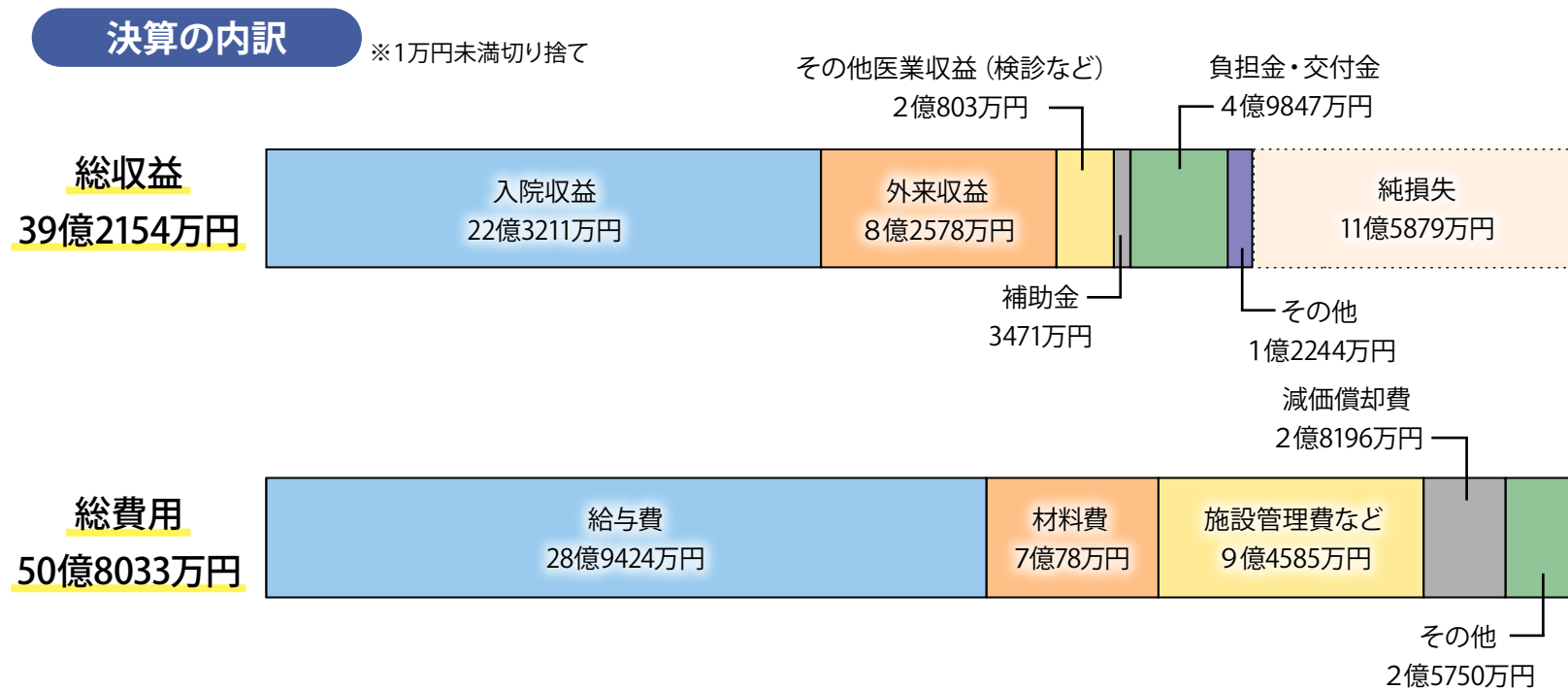
院として、地域医療の確保と保健衛生の向上に積極的に取り組みます。令和6年度の市立病院の決算と主な取り組みなどをお知らせします。
【問】市立病院総務課 ☎635-0101

詳しくは、市立病院のホームページをご覧ください▶



令和6年度の決算

令和5年度と比較して入院患者数の増加により医療収益が増加しました。一方、人件費や諸物価の高騰などにより費用も増加しました。総収益が39億2154万円に対して、給与費や材料費などの総費用が50億8033万円となり、11億5879万円の純損失となりました。



令和6年度の主な取り組み

■未利用地の利活用

地域住民の利便性の向上に寄与し、経営を改善するため、病院未利用地の活用を進め、公募型プロポーザルにより事業者を選定しました。また、選定事業者とともに介護関連施設や地域交流拠点の整備に向けた協議などを行いました。

■人工透析の充実

今後増加が見込まれる透析患者を受け入れるために、人工透析室の改修工事を行いました。また、必要なスタッフを確保するとともに、段階的な患者の増加に合わせた機器の整備をしました。



令和7年度の主な取り組み

本年度から新規で取り組んでいます

■多職種連携による医療の質の向上

医師・歯科医師、看護師、理学療法士、管理栄養士らが連携し、入院患者の早期離床や日常生活の動作の維持・向上に努めます。

■婦人科外来の再開

常勤医の採用により、女性特有の病気に對して他科と連携した診療をします。

収支改善を目指し、市立病院経営強化プランを策定しています。

今後の収支状況を踏まえて、内容の見直しを図り、より具体的な取り組み事項を示しながら収支改善に努めます。詳しくは、市立病院のホームページをご覧ください。



さらに強化して取り組んでいます

■救急医療体制の強化

救急患者を夜間、休日問わず積極的に受け入れ、地域の皆さんが必要とする医療を提供します。

■医療 DX の推進

通院困難者の利便性向上のため、オンライン診療の運用を開始します。また、働き方改革に対応したDX(デジタルトランスフォーメーション)化を推進します。

■入退院支援、地域連携の推進

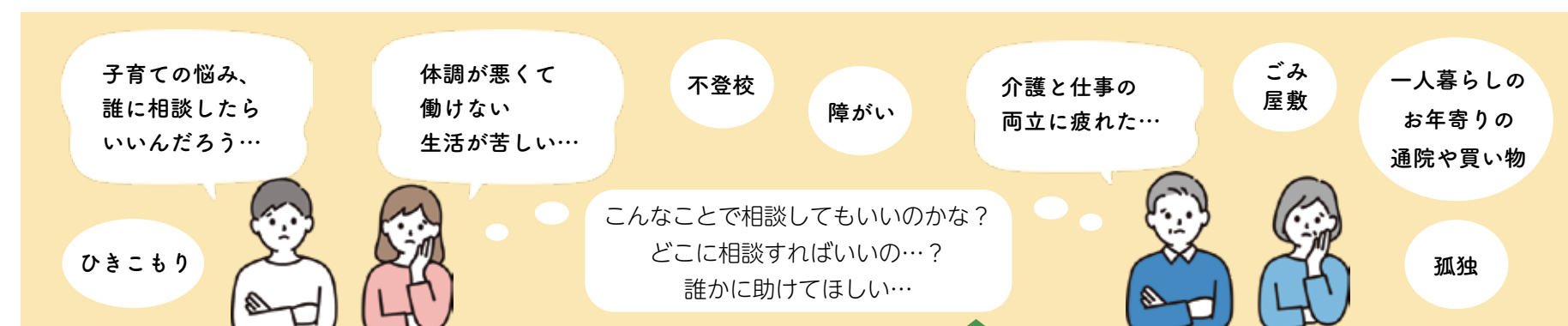
患者の外来受診時から入院、退院、退院後の生活を見据え、院内各部門、院外関係機関などと連携しながら病院全体で支援をします。

地域の介護施設などとの密接な連携を図り、退院後の生活を支えるため、多職種の医療従事者が連携し、在宅や施設での療養につなげます。

あなたの困りごと・悩みごと

まるごとよりそいネットワークもりおか にご相談ください

相談できずにいる困りごとや悩みごとはありませんか？ 困りごとや悩みごとを専門機関につないで解決のお手伝いをする「まるごとよりそいネットワークもりおか」(まるネット)について紹介します。
【問】地域福祉課 ☎626-7509



まるごとよりそいネットワークもりおかとは…

「まるネット」は困りごとや悩みごとをワンストップで受け止め、14分野の専門機関などと連携して、必要な支援をコーディネートする窓口です。自分が抱えている困りごとだけではなく、周囲で悩んでいる人についても相談できます。



詳しくは、市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。



相談

支援

その困りごと・悩みごとまずは「まるネット」にご相談ください！



まるごとよりそいネットワークもりおか事務局（市社会福祉協議会内）

電話で相談する

☎ 656-9271

電話・窓口の受け付けは、平日8時半～17時15分
※土・日曜、祝日と年末年始を除く

窓口で相談する

市総合福祉センター1階
(若園町2-2)

メールで相談する

✉ marugoto@morioka-shakyo.or.jp

※メールでの相談の場合は、返信に数日かかることがあります



連携

行政 民生・児童委員

教育機関 支援機関

企業 町内会・自治会

ボランティア など

専門家のいる分野（14分野）

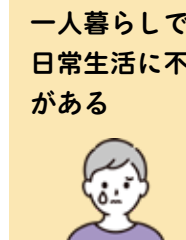
更生保護 ひきこもり 共生の場・まちづくり 障がい
子ども 生活困窮 社会福祉 若者・就労 高齢
医療 司法 地域 ひとり親家庭 女性支援

「まるネット」はあなたの困りごとを整理して必要な支援につなぎます

一人一人に寄り添った支援をコーディネートします！



生活福祉資金利用の支援
社会復帰に向けた就労支援



介護保険サービス利用の支援
住まいの片付けのお手伝い

その他

医療機関受診の支援
家庭以外の居場所への参加の支援
生活保護利用の支援 など

支援のイメージ

【相談者の状況】

- 母・中学生の子のひとり親家庭
- 病気のため、母親が働けなくなり、経済的に困窮している
- 子の生活が昼夜逆転しており通学できず、学習に遅れが出ている
- 利用できる支援制度があるか分からない

支援のコーディネート

- 利用できる手当や、生活保護の担当部署を案内した
- 近隣に住む祖父母に、子の見守りの協力を依頼した
- スクールソーシャルワーカーと情報を共有した

支援の結果

- 各種手当や生活保護を利用したことで、家計の安定につながった
- 祖父母の見守りや声掛けがきっかけとなり、子の生活リズムが安定した
- スクールソーシャルワーカーの支援により、子が通学できるようになった

「まるネット」は「重層的支援体制整備事業」により、市と市社会福祉協議会が共同で実施しています。「重層的支援体制整備事業」について詳しくは、市ホームページをご覧ください。

